

2024年8月14日

【日本電気泳動学会の伝統】

日本電気泳動学会会員の皆様

立秋とは名ばかりの猛暑が続いておりますが、皆様におかれましては、一層ご清祥のこととお慶び申し上げます。今回のメール通信では、この学会について私が最近感じたことを短いエッセイとしてお送りいたします。どうぞお気軽にお読みください。

先日、ある名誉会員の方の叙勲申請に係る書類作成を某大学から依頼されたことから、昔の学会運営に関する資料を探すため事務局に保管されている古い段ボール箱の中を開けてみた。手書きの会員管理簿や会計簿、製本された学会機関誌、ニュースレター、その他もろもろの書類が出てきた。ほぼ全て電子化された現在からみると、過去の学会運営はさぞ骨が折れたらうと推察され諸先輩の先生方に頭が下がる。

それらの箱の中に「電気泳動学会創立三十周年記念文集 昭和54年」という小さな書籍があった。昭和54年といえば45年前、文部省から「組換えDNA実験指針」が告示され日本の生命科学も変革期を迎えた頃である。その当時、この学会の先生方はどのようなことを考えておられたのだろうか。序文には平井秀松先生がこう記されている「30周年を機に学会の30年史を編むことも考えはしたが、私はむしろ来るべき飛躍に備へ、多くの方達の本学会に対する感想を集収しておくべきと考え、本文集を記念事業の一つとして発行することとした。」。この文を読んだ私は俄かに興味が湧いてきて一気にこの本を読ませていただいた。半世紀近く前に書かれたものだが、現在の電気泳動学会にも流れる通奏低音のようなものがどの文章にもあるように感じた。諸先輩が寄稿したこの文集の中から一部を抜粋してご紹介したい。

「会員の中から本学会も日本医学会総会の分科会に入るべきだとの声上がり、私はその意見をもって先生のところへ相談に伺ったところ、ただ一言「そんなものはいらんでええ」といわれたのである。私は黙って引き下がったが、今考えてみると化学、物理化学、生物学の全分野にわたる本質をしかとわきまえての御発言だったと思う。」

平井秀松先生（北海道大学医学部第一生化学教室）：『四つの礎石』-児玉桂三先生より

「研究会の名称が蛋白泳動研究会であるにもかかわらず、機関誌の名称が「生物物理化学」であることを不思議に思われる方が多数いるに違いない。この名称は、現会長の平井秀松教授の提案であったが、その背後に学会の創立者、児玉桂三先生のお考えがあったものと思う。この研究会は電気泳動のみならず、将来は物理化学的手法による分析法を利用して得た業績を発表する会にしたい、というお考えがあったのである。」

阿部正和先生（東京慈恵会医科大学第三内科学教室）：『電気泳動学会-過去・現在・未来』より

「電気泳動学会が医学関係の学会としては数少ない臨床と基礎医学、科学の学会であり、戦後ずっと続いていることは歴代会長のご努力によるものとはいえ特筆すべきことである。しかも多くの学会がマンモス化している中で適当な大きさとどまっているためコミュニケーションがよいことは学会として実質的にもよく機能しているといえよう。」

阿南功一先生（筑波大学基礎医学群）：『随想』より

「その意味であれば臨床の名を付した基礎的学会は他にも沢山ある。しかしこれらの学会は臨床医学に対する基礎医学の進歩の受け売りであったり、単なる両者の混ぜ合わせであったりする場合が多いように感じられる。その点、電気泳動学会においては、分画法の原理を抜きにして臨床上の新しい知見を理解することはできないし、また逆に分画法の進歩も臨床あるいは応用面での意義づけが伴わなければ将来の発展も望めないであろう。またこのような接点の学問を積極的に推し進める姿勢が各会長、会員に見られることが本学会の特徴といえる。」

武田和久先生（岡山大学医学部第一内科学教室）：『電気泳動学会を基礎医学と臨床医学の懸け橋に』より

日本電気泳動学会の中で私がぼんやりと感じていたことは、発足当初からこの学会に存在しており、そして今もなお引き継がれていることに改めて伝統の重みを感じる次第である。

日本電気泳動学会会長 亀山 昭彦

FUJIFILM
Value from Innovation

りん酸化タンパク質研究試薬

分離、精製、検出、MS 解析に!

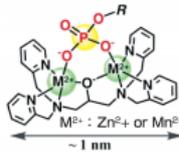
Phos-tag® Series

What's Phos-tag®?

Phos-tag® は、Ser / Thr / Tyr などすべてのりん酸化体を捕捉する機能分子です。

Phos-tag® は、広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 医薬品分子機能科学研究室にて開発されました。
Phos-tag® は、広島大学 小池透教授の登録商標です。

【Phos-tag® の構造】



分離以外にも、Phos-tag® を応用した試薬を、りん酸化タンパク質の **精製** **検出** **MS** に使用できる各製品をシリーズ化しています。

分離 SDS-PAGE による分離に!

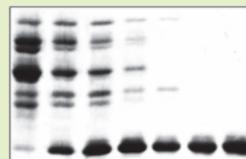
NARD institute, ltd.

SDS-PAGE ゲルに混ぜるだけ

Phos-tag®
アクリルアミド

Wako

プレキャスト Phos-tag® 入りゲル
スーパーセップ™ Phos-tag®



←りん酸化 β-casein

←非りん酸化 β-casein



詳細は当社 HP を
ご覧ください。

ライフサイエンス > タンパク質研究試薬 > りん酸化タンパク質研究試薬
https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/category/lifescience/protein/phos_tag/index.html

富士フイルム 和光純薬株式会社

フリーダイヤル 0120-052-099

試薬 URL: <https://labchem-wako.fujifilm.com>
E-mail: fwk-labchem-tec@fujifilm.com

日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋 (株)

コスモ・バイオ (株)

ナカライテスク (株)

(株) ナード研究所

日本エイドー (株)

バイオ・ラッド ラボラトリーズ (株)

(株) ヘレナ研究所

富士フイルム和光純薬 (株)

(株) クリムゾン インタラクティブ ジャパン

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp)

宛にお願いいたします。